

## 自主とチュチェ思想

セルビア・チュチェ思想研究全国委員会委員  
ミロシュ・カラベジッチ

親愛なる同志のみなさん！

朝鮮民主主義人民共和国創建 75 周年に際しておこなわれるセミナーの参加者のみなさん！

自主性はチュチェ思想の基本範疇であり、チュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国の指導思想であります。

1948 年、朝鮮民主主義人民共和国が創建されてから朝鮮語では「ザズ(自主)」という自主性は共和国の政治で一つの根本的原則となってきました。

これは植民地化と外部勢力の支配、特に 1905 年から 1945 年までの日本の統治下で体験したこの国の歴史的経験から出発しました。

朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席と金正日総書記は国家管理と経済、そして国防の各分野で自力更生を奨励して民族の自主権を実現し、外部の影響から自主権を固守してきました。

朝鮮民主主義人民共和国の創健者である金日成主席が 1930 年代に創始したチュチェ思想は国の政治制度の思想的基礎となりました。

一般的に「自力更生」または「民族自決」という意味を持っているチュチェは朝鮮人民を国の発展と意思決定過程の中心に立てました。

チュチェは外部勢力に対する依存の排撃と共に経済的、政治的、軍事的自主性の必要性を強調します。

チュチェ思想を持っていることにより、朝鮮人民は自分の運命を開拓し、国の発展を成し遂げる上で積極的かつ決定的な役割をしています。

チュチェ思想は国の自主性を打ち固める上で経済発展と科学の進歩の重要性を強調しています。

チュチェ思想はまた、朝鮮人民をして自分の運命の主人になることを要求する自主の思想として民族性と団結を奨励しています。

チュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国の憲法に具現されており、また、国家管理で指導的原則とみなされています。

チュチェ思想は政治、経済、教育、文化など朝鮮民主主義人民共和国の社会の全ての分野に具現されています。

総体的に自主性とチュチェ思想は朝鮮民主主義人民共和国の政治・思想の形成と国

家管理方法を立てる上で決定的な役割をしています。これは国の歴史的経験と共に自力更生、民族の自主権に対する念願と自己の運命を自分自身が決定しようとする朝鮮人民の意思を反映しています。

チュチェ思想の真髄は、人民大衆は革命と建設の主人であり、革命と建設を推し進める力も人民大衆にあるということです。

チュチェ思想は人民の自主性が完全に実現された社会の真の姿とその建設の合法即的課程、また社会主義偉業を遂行するための全過程において徹底的に堅持すべき闘争戦略と方針を科学的に説明しています。

金日成主席と金正日総書記は思想・理論の英才、指導芸術の巨匠、百戦百勝の鋼鉄の統帥、偉大な革命家、偉大な政治家、偉大な人間でありました。

金日成主席と金正日総書記の偉大な革命思想と主席と総書記の指導のもとにもたらされた立派な成果は、朝鮮革命の永遠な財宝であり、朝鮮民主主義人民共和国の繁栄の根本的保証であります。

金正恩総書記の賢明な指導のもとに朝鮮民主主義人民共和国と朝鮮人民は金日成主席と金正日総書記をチュチェの永遠なる太陽として高く戴き、主席と総書記の思想と業績を擁護、固守してこそチュチェの革命偉業を完遂するでしょう。